国家検定合格品 自治大臣型式承認番号
降第10～1号／降第10～2号／降第12～1号
降第22～1号

ORIRO
FIRE ESCAPER MATSUMOTO

ORIRO 緩降機
取扱説明書

緩降機とは降下速度を一定の範囲に調整されたもので、使用者が他人の力を借りずに自重で降下できる機構を持ち、つるべ式に一人ずつ交互に何人でも安全に避難できる避難器具です。

このたびは、ORIROの緩降機をご利用頂きまして誠にありがとうございました。

- ご入居されましたら、まず緩降機が設置されている場所をご確認下さい。
- お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解して下さい。
- 万一に備えて、この取扱説明書は大切に保管して下さい。

取扱上注意

◎お使いになる人への危害を未然に防止するため、お守りいただくことを、説明します。
◎表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険
この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じる、ことが想定される」内容を示します。

警告
この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

注意
この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的障害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

MATSUMOTO KIKO CO., LTD.

■正しい使用方法

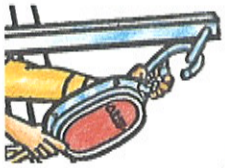
いざという時に惑わず使用できるよう、内容のご確認をお勧めします。
下記の手順で正しい操作を行なって下さい。

①緩降機の側面に付いているパッチン錠を外し上蓋を開けて下さい

※屋外の本機防水用格納BOXに収納されている場合は、そこから取り出して、上記の操作を行って下さい。

②フックを持ち、調速器とリールを合わせて取り出して下さい。

③取付金具に緩降機を取付ける。安全環(止め金具)の付いている部分に指を掛け内側に曲げ口を開け、取付金具アーム先端の吊環に掛けて下さい。
指を離すと内蔵されているスプリングの力で、元に戻ります。
安全環を右に回して、締めて下さい。



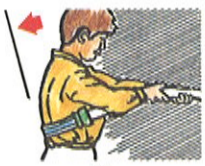
注意 吊環に掛ける時、指を挟まないよう注意下さい。

危険 安全環を確実に締めた事を確認して下さい。
(締めないで使用すると危険です)

④ロープの巻いてあるリールを投下する。

注意 地上に人がいない事を確認して投下して下さい。

各部の名称



⑤着用具を頭からかぶり、左図のように胴部に装着して下さい。

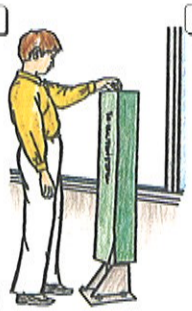
危険 誤って長いロープ側の着用具を装着すると墜落する危険性があります。

⑥地上に投下しているロープと、装着した着用具側のロープを２本同時にしっかりと手で握った状態で外に出て下さい。

ORIRO 緩降機 D2型 (床付用) 使用方法

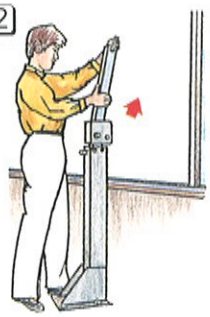
●屋外用BOXの両側面のパチン錠を解放してカバーを取りはずします。
各種、屋外BOXは同じ操作方法で取り外します。

1



●カバーを取り外します。

2

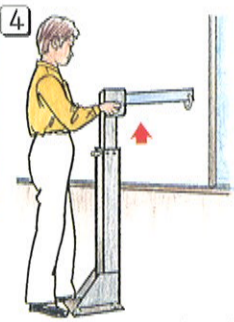


●吊環を持って、アームを外に倒すように引上げます。

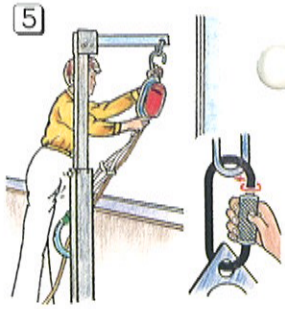
3

●両手で取手を持ち、ストッパーが作動するまで支柱を引上げます

4

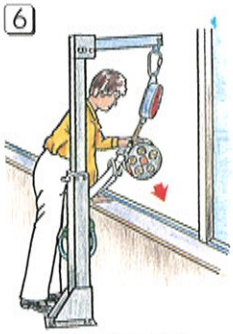


5



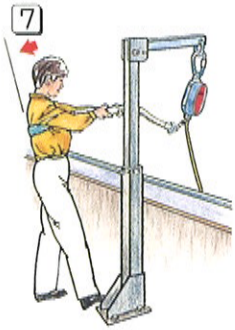
●調速器のフックを吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。

6



●ロープの巻いてあるリールを外に投下します。

7

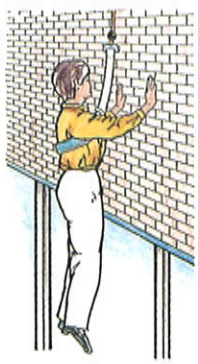


●着用具を胴部に着用し、ベルトを両手で持ち身体を後に倒すと、ベルトが締まります。

8

●２本のロープを持って外へ出て、身体を壁面に向けてロープをはなして降下します。

9



10

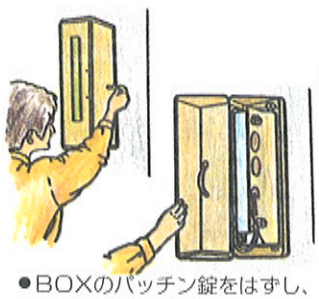
●着地したら、上で待って居る人の為に、素早く着用具をはずし、安全な場所へ避難して下さい。

●各機種 取付金具 使用方法

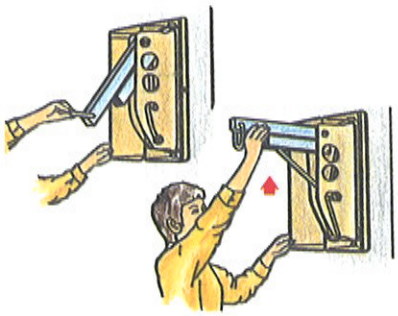
●取付金具が設置されている場所と機種を確認して下さい。

●各機種とも絵図の説明後は、「D2型」使用例「⑤～⑩」の操作手順で行ってください。

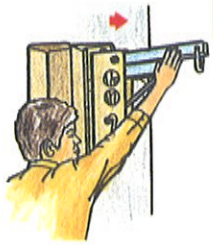
B型



●BOXのパッチン錠をはずし、カバーを開けます。

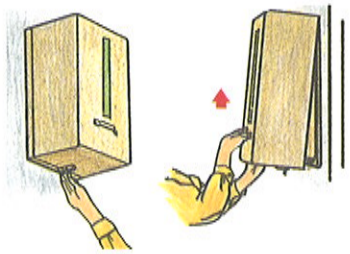


●アームの先端をストッパーが作動するまで、持ち上げます。



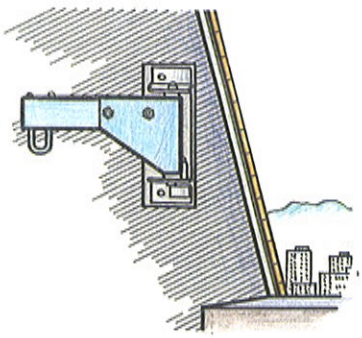
●アームの先端を外に向けて、ストッパーが作動するまで回転します。
以後は、「D2型」の操作手順で行なって下さい。

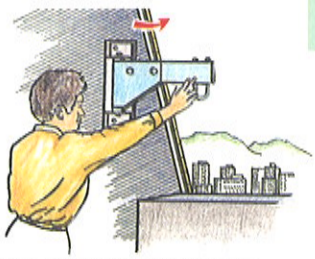
B型（ケンドン式）



●持ち上げるように手前に引上げてカバーをはずします。
以後は「B型」と「D2型」の操作手順で行って下さい。

C型



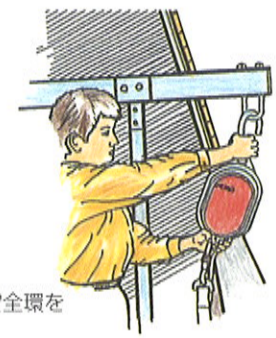


●アームの先端を外に向けて、ストッパーが作動するまで回転します。
以後は、「D2型」の操作手順で行って下さい。

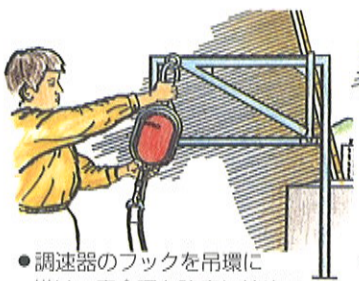
E型

●調速器のフックを吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。
以後は「D2型」と同じ操作手順で行なって下さい。

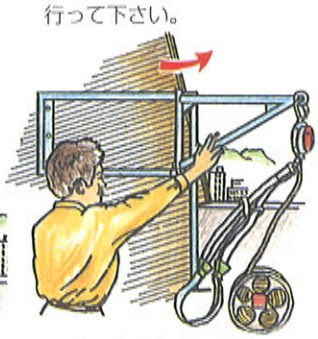
屋外（固定式）



屋外（回転式）

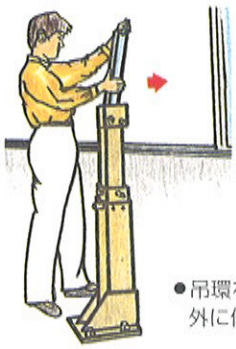


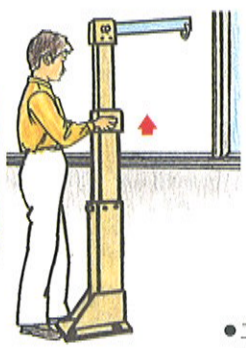
●調速器のフックを吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。



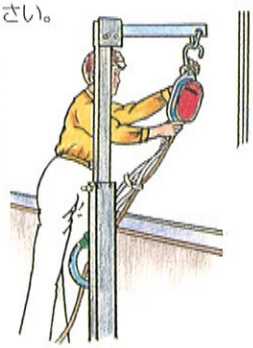
●アームの先端を外に向けて、ストッパーが作動するまで回転します。
以後は「D2型」の操作手順で行って下さい。

DP型





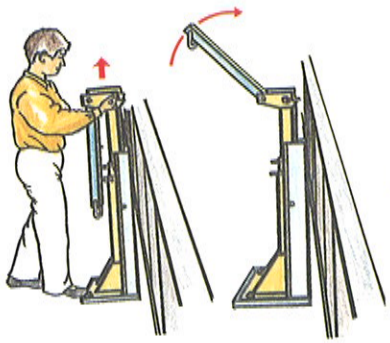
●吊環を持って、アームを外に倒すように引上げます。



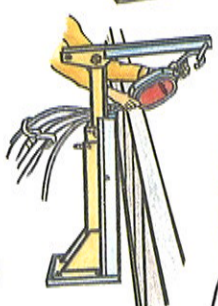
●二段目の支柱の取手を両手で持ち、ストッパーが作動するまで引上げます。
以後は「D2型」の操作手順で行なって下さい。

DA型

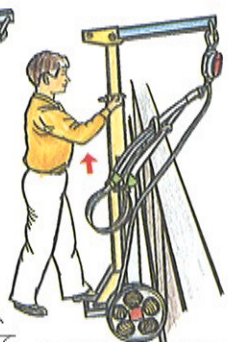
●屋外のBOX両側面のパチン錠を解放してカバーを取り外します。



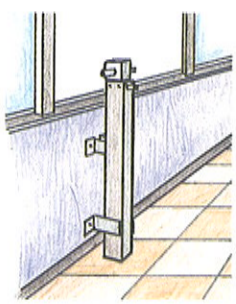
●一段目の支柱の取手を両手で持ち、ストッパーが作動するまで引上げます。



●調速器を吊環に掛け、安全環を確実に締めて確認します。

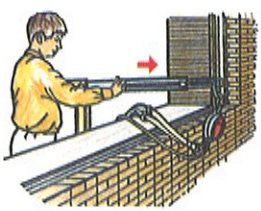


●二段目の支柱の取手を両手で持ち、ストッパーが作動するまで引上げます。
以後は「D2型」の操作手順で行なって下さい。



壁付用
操作方法は、各機種と同じ操作手順で行って下さい。

DS型

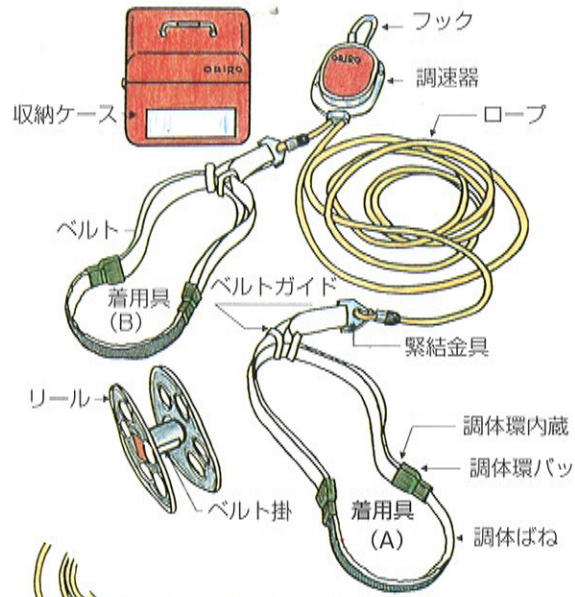


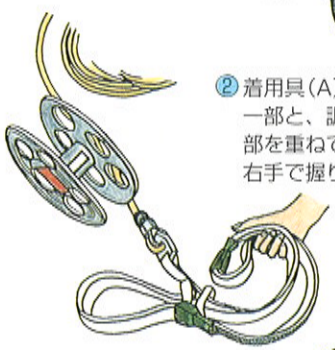
●操作は「DA」と同じで、アーム部分がスライドします。
スライド ハンドルで、アームの先端を外に向けて押出します。
以後は「D2型」の操作手順で行なって下さい。

ORIRO緩降機　収納方法

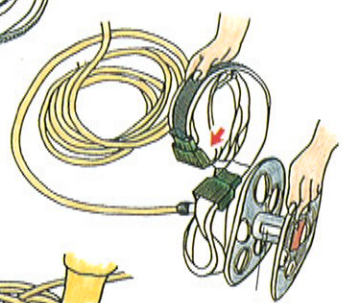
①ORIRO緩降機の各名称を確認して下さい。

⚠ 注意 緊急時のために、正しく収納して保管してください。



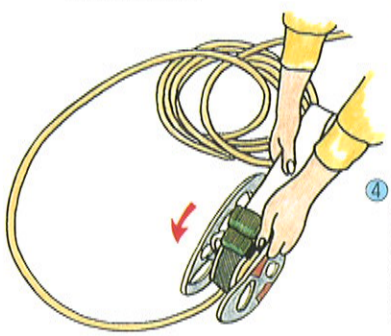


②着用具(A)のベルトの一部と、調体ばねの一部を重ねて図のように右手で握ります。

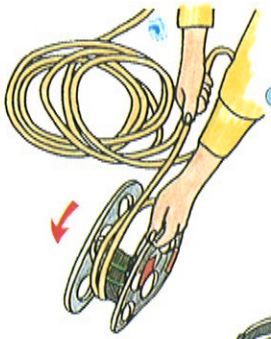


③左手でリールを支えながら、リール芯のベルト掛に図の矢印部分を通します。

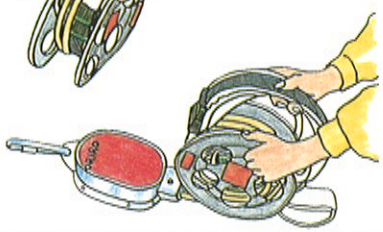
ベルト掛



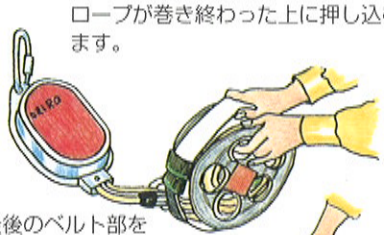
④リールを矢印方向に回転しながら手に持っているベルトを手前に引き締めます。



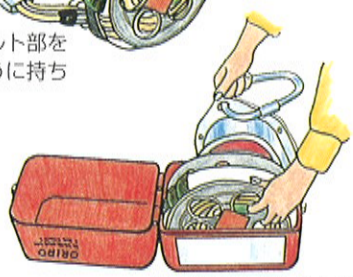
⑤リールを矢印方向に回転しながらロープを手前に引き締めるように巻き付けます。



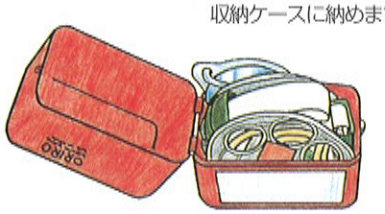
⑥着用具(B)のベルト部と、調体ばね部を重ねて、ロープが巻き終わった上に押し込むように納めます。



⑦最後のベルト部を締めるように持ちます。



⑧調速器と合わせながら収納ケースに納めます。



⑨蓋を閉めて一定の場所に保管して下さい。

ORIRO 松本機工株式会社

東　京	〒112-0001	東京都文京区白山4-25-6	☎03(3814)7744 FAX.03(3813)2909
大　阪	〒552-0007	大阪市港区弁天2-14-24	☎06(6572) FAX.06(6574)2994
名古屋	〒453-0015	名古屋市中村区椿町19-7	☎052(452) FAX.052(451)3506
横　浜	〒231-0028	横浜市中区翁町2-7-6	☎045(663) FAX.045(663)7746
九　州	〒815-0031	福岡市南区清水3-9-21	☎092(551) FAX.092(511)6555
札　幌	〒060-0005	札幌市中央区北五条西11-15-4	☎011(231) FAX.011(231)7745
東　北	〒981-0932	仙台市青葉区木町6番14号サン・レオ101号	☎022(207) FAX.022(205)7887
新　潟	〒959-0227	新潟県燕市粟生津山王724	☎0256(92) FAX.0256(92)4949
埼　玉	〒355-0324	埼玉県比企郡小川町青山745	☎0493(72) FAX.0493(74)1445

http://www.oriro.co.jp　e-mail oriro@oriro.co.jp　http://www.evacuation.net/(U.S.A)

07.8 PIT 3,000